

健康と光線

スギ花粉症

スギ花粉は2月から4月に飛散するため、春の訪れと共に、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、涙や目の痒みなど、スギ花粉症に悩まされる方は大勢います。今次大戦前、スギ花粉症は稀でしたが、昭和40年代には増加の一途をたどり、わが国の罹患者は二十万人以上と言われています。このようにスギ花粉症が多発したのは、戦後、国が推進した大規模スギ植林により杉の人工林が急増し、その大半が花粉を飛散する樹齢30〜40年になったこと、地表が舗装されて花粉が遠くまで飛ぶようになったこと、アレルギー性疾患と関連があると思われる食事の西欧化、環境汚染、寄生虫感染の減少、ストレス等々によるとされています。

自己防衛機能としての免疫応答

スギ花粉症に関する研究の多くは発症に至るメカニズムについて、スギ花粉症を発症しない人の内因は未だ詳らかにされていません。しかしスギ花粉症は自己防衛機能の根幹をなす免疫系がスギ花粉を抗原として認識して抗体を形成する、免疫応答が間違った抗原抗体反応を起こした結果であることは確かです。筆者は間違った反応の一因に太陽光線と遠ざけ自然と隔絶した文明生活が関わっている文明病の可能性があると考

スギ花粉症は自然と隔絶した文明病

光線療法でスギ花粉症を予防

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

罹患者率は28・7%、スギ花粉の飛散量が多いが光線被曝量が高い九州、四国は15・6%と報告されています。この東京で高く地方で低い花粉症罹患者率の地域差は、文明が生活環境から光線と共に暮らすヒト本来の生活を奪ったことが免疫応答の能力を

低下させた側面があると考えられますので、この観点から、各人が生活習慣を見直し、光線に親しむ生活を取り戻して欲しいと考えています。

花粉症の光線療法

ところで、夏、日光浴をする、冬、風邪を引かない、と言い伝えられてきました。この表現は経験的事実に基づく知恵ですが、光線には免疫応答を調節して正しく作動させる作用がありますので、花粉症の予防対策として光線療法を勧めます。

光線が免疫応答を調節する作用は、免疫系を司る細胞分化誘導作用とカルシウム代謝調節作用の二大作用を持つビタミンDを生成するからです。細胞の分化を誘導する作用が免疫系に及ぼす作用は、免疫機能に係る血液幹細胞がビタミンD受容体を受け皿にして、単球や

食細胞のマクロファージへの分化、あるいはリンパ球のT細胞やB細胞への分化を促し、細胞性免疫や液性免疫を調節するからです。またカルシウム代謝を調節する作用は、身体を構成する60兆といわれる細胞間の情報交換を行う上で欠かせず、約一兆といわれる免疫担当細胞がそれぞれの役割分担に応じて正常に作動することを助けます。このように光線は体質を改善してスギ花粉症を予防しますが、花粉が飛散する時期だけでなく、日頃から継続して行うことが予防する上で大切です。

賀春

平成二十六年 元旦

(株)東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

(六日より営業します)

一病息災 一病息災

骨代謝と骨粗鬆症

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

はじめに

私たちの身体を支え、カルシウムの貯蔵庫でもある骨は、成長期に太く伸び、成長が停止した後は、そのままの状態が維持されているだけと思われがちですが、そうではありません。骨は絶えず新陳代謝を行っています。古い骨を溶かし、新しい骨につくり替える作業を黙々と行っており、骨代謝と呼ばれます。

骨の構造

骨には、皮質骨と海綿骨といった二種類がありますが、それらは異なった役割を担っています。皮質骨は、緻密で硬く、極めて強いのですが、海綿骨は、梁のような骨梁が網目状に走っており、スポンジ状を呈し、皮質骨よりやわらかいことが特徴です。

その皮質骨と海綿骨の含まれる割合は、身体の部位や一つの骨の部位によっても異なります。例えば、大腿骨では、骨端の部分には、海綿骨が多く含まれますが、これは関節に近いいため、硬い骨では軟骨を傷めるからです。また、骨幹の部分には、皮質骨が多く含まれますが、これは身体の重さに耐えるだけの強度が必要なためです。また、椎体は硬すぎると、椎間板を傷めるため、

主に海綿骨で構成されています。

骨の成分

骨の主成分は、コラーゲン、カルシウム、リンで、骨はコラーゲンに、カルシウムとリンでできたハイドロキシアパタイトと呼ばれるリン酸カルシウムの結晶が沈着して形成されています。骨を建物の構造に例えると、コラーゲンは鉄骨で、ハイドロキシアパタイトがコンクリートとなりますが、強靱なコラーゲンは、骨を支えるとともに、外力が加わった際には、たわむことによって外力を吸収します。これに対し、ハイドロキシアパタイトは、コンクリートのように硬くて丈夫ですが、外力の加わり方によっては、折れるといったもろさを併せもちます。

骨代謝

骨は一生を通して、休むことなく、古い骨を壊し、新しい骨をつくり替えており、一年で約10%の骨が入れ替わると思われますが、この骨代謝を担うのは、破骨細胞と骨芽細胞です。破骨細胞は、骨の表面に張り付き、酵素や酸で、骨を溶かし(骨吸収)、骨芽細胞は、コラーゲンを分泌し、ハイドロキシアパタイトを沈着させて骨を形成します(骨形成)。

このサイクルは、「骨代謝回転」または「骨のリモデリング」と呼ばれ、複数のホルモンやビタミンD、サイトカイン等によって、調節されています。

カルシウムと ビタミンD

カルシウムは、99%が骨内にあり、残りの1%は、血液や体液中にあります。骨や歯の材料としてだけでなく、神経伝達や筋収縮等の重要な働きも有するため、血液中のカルシウム濃度は、常に一定に保つ必要があります。ですから、もし食事から十分なカルシウムを摂取できず、血液中のカルシウム濃度が低下すると、不足分を骨から補おうとしますが、この時、副甲状腺ホルモンが破骨細胞の働きを活性化し、骨からカルシウムが溶け出し、血液中のカルシウム濃度が上昇する仕組みが、体内には構築されているのです。また、紫外線を浴びて皮膚で合成されるビタミンDは、腸管からのカルシウム吸収を促進するとともに尿中へのカルシウム排泄を抑制することによって、カルシウム濃度の維持を助けています。

骨粗鬆症

骨粗鬆症は、骨がもろくなり、

骨折しやすくなる状態のことですが、骨の強度は、骨密度(骨量+面積)と骨質の二つの因子で決定されます。このなかで、骨量は、骨に含まれる石灰分等の量を表し、数値が高い程、骨が丈夫ということになりますが、成長とともに増え続ける骨量も、20歳頃にピークを迎え、40歳を過ぎると徐々に減少します。なお、骨質は、取り出さないと評価できないため、骨粗鬆症の検査としては、骨密度のみが利用されていますが、これは、骨内のカルシウム含有量を示す数値で、病院で測定されているものです。

また本邦において、骨粗鬆症の診断は、①脊椎圧迫骨折や大腿骨近位部骨折が起きている場合と②骨密度が若年成人の平均骨密度の70%を下回る場合とされますが、その主な症状は、背中や腰の痛み、背中や腰の彎曲、身長の下等です。

骨粗鬆症が、高齢者の身体活動の低下につながる原因の一つであることは確かです。サナモア光線療法には、ビタミンDを介して、骨を丈夫にし、骨粗鬆症を予防する作用がありますので、骨折等を起こす前から使用することをお勧め致します。

謹
賀
新
年

明けましておめでとうございます。サナモア光線治療院も、馬にあやかり大ジャンプと飛躍の年にしたいところですが、多くの方の健康に寄与するためには、汗馬の労

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.56 宇都宮 正範

もいとわず、行動しなければならぬと考えております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

第十九期

サナモア光線治療師養成講座のお知らせ

本年度も、昨年と同様、サナモア光線治療師養成講座を六月末に開講する予定でおります。光線治療院の開業をご検討されている方やサナモア光線療法について勉強したいとお考えの方は、サナモア光線治療院〇三―五七五九―三七一〇までご連絡下さい。

なお、日程等の詳細につきましては、次号に掲載させて頂きます。

第四十回

「光と熱研究会」のお知らせ

医療に関連した話題の講演や

治療例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方でも是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日時：四月十九日(土)

午後二時三〇分

場所：サナモア光線治療院

三階会議室

治療院&治療師紹介

今回は先に行われたサナモア光線治療師養成講座に出席し、治療師資格を取得され、光線治療院を開業された方をご紹介します。

万亀羅・癒しや本舗

院長：深澤恵子 治療師

電話：080-4123-3637

住所：千葉県柏市柏3-7-17

トーカーキャステール313

交通：JR柏駅より徒歩五分

営業時間：完全予約制。受診者

との相談にて決定致します。

募集

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

施術内容：サナモア光線療法30分施行後、筋肉のバランス調整およびリンパ・トリートメント等を施行。基本料金3千円。一言：以前から、パワー・ストーリーに興味を持っており、様々なヒーリングやタッチフォヘルズで筋肉調整や経路を学び、リンパ・トリートメントを勉強してきました。しかし、最も確かな効果を感じた治療は、子供の頃から身近にあり、事あるごとに使っていたサナモア光線治療で

した。青い鳥が、自分のすべそにいたことにより、気がつき、この度、サナモア光線治療師養成講座を受講した次第です。先日、五十肩を患った際には、腕を少し動かしただけで痛みが走ったのですが、サナモアを始めて十日、見事に治りました。これからは、自分自身の体験に基づき、自信を持ってお悩みの方の治療に当たりたいと思います。

第25回 日本療術学会から

東京 ホテルグランドパレス 平成25年11月17日～18日

シンポジウム

「自然治癒力の向上と療術」

「自然治癒力の向上と光線療法」

(財)全国療術研究財団

光線部門 宇都宮 光明

(財)全国療術研究財団
光線部門
宇都宮 光明

光線療法の起源と理念

光線療法の起源は、先人が太陽光線の恵みを直感的、体験的に会得し、太陽光線を用いた日光療法に自然治癒力を向上させ病変を治癒に導く効能があると信じたことにある。因に現代医学の祖とされるヒポクラテスは日光療法を積極的に医療に取り入れている。

光線で生成される

ビタミンDの作用

光線療法の効能に理論的根拠を与えたのは、光線の抗クル病効果の研究から、二十世紀初頭に紫外線によりビタミンDが生

成されることが明らかになったことである。すなわち自然治癒力と深く関わっているビタミンDは紫外線を浴びれば過不足なく生成されるが、魚肉を除く食品には殆ど含まれないため、紫外線を浴びないと容易にビタミンD欠乏症を起こし、カルシウムの吸収量が減り排泄量が増えてカルシウムの血中濃度が低下する。そのため副甲状腺ホルモンのパラソルモンが骨からカルシウムを血中に溶出させて補うので、子供はクル病、成人は骨粗鬆症になる。この際、溶出したカルシウムは血中から細胞内に移行して細胞内カルシウム濃度が上昇する。この状態をカルシウムパラドックスと呼ぶが、高血圧、動脈硬化、糖尿病などさまざまな生活習慣病の危険因子になる。

またビタミンDにはカルシウム代謝調節作用に加えて、全身の細胞に分布するビタミンD受容体を介して細胞分化を誘導する極めて重要な作用がある。具

体例を挙げると、免疫担当細胞のリンパ球の幹細胞の細胞分化を誘導して免疫機能を担う細胞への分化を促し、感染症やアレルギーを予防する。またビタミンDの癌予防効果を190年に最初に報告したアメリカのグリーン博士は、乳癌と大腸癌の発症率、死亡率が、アメリカ北部で高く南部で低いのは紫外線被曝量の多寡によるビタミンD生成の違いに起因すると指摘したのであるが、その後、多くの癌で追試確認されている。なおビタミンDには悪性腫瘍細胞の増殖を抑制して正常細胞への分化を誘導する作用があることが指摘されている。

可視光線と体内時計

毎日、朝日を浴びると、一日を24時間の地球時間に合わせる体内時計が作動し、覚醒と睡眠の昼夜の生体リズムを調節する。この生体リズムを日内リズム・概日リズム・サーカディアンリズムと呼ぶが、可視光線の光エ

ネルギーが光受容器を介して体内時計の中枢の視床下部の視交叉上核を経て松果体ホルモンのメラトニンの分泌を抑制すると、メラトニンの前駆物質のセロトニンの働きを高めるため、覚醒のリズムがオンになり、活動に適したリズムが始動する。一方、陽が落ちて暗くなるとメラトニンが増しセロトニンが減るので、睡眠や休息に適したリズムになる。このようなメラトニンの日内変動は、覚醒と睡眠だけでなく、体温、血圧、心拍、尿量、ホルモン、酵素、食欲、自律神経、内分泌系機能などのリズムを整え、自然治癒力の向上に好影響を及ぼすのである。

赤外線と

熱ショック蛋白質

赤外線の透過性のある温熱作用による、鎮痛効果、筋緊張緩和、末梢循環の改善、心拍出量の増大、発汗促進、新陳代謝の促進は従前から知られているが、近年、

(四ページからつづく)

温熱刺激で誘導され産出量が著しく増加するため熱ショック蛋白と呼ばれる、ストレスに対する耐性を誘導して生体防御効果に勝れた一群の蛋白質が生成されることが明らかにされた。

熱ショック蛋白質には、生体を細胞傷害から防御する作用、NK細胞活性を始め自然免疫能を高める作用、蛋白質の品質を管理する作用がある。蛋白質は生命機能を支配する構成成分で、構造上の間違いや変性は病因になり、病気に伴って異常な蛋白質が発現して病気を悪化させるが、熱ショック蛋白質はこれらの蛋白質の異常を正常に戻す機能を促進する。なお蛋白質の品質を管理する機能をシャペロン機能と言つため、熱ショック蛋白質を分子シャペロンと言つが、蛋白質の品質管理は自然治癒力の本質に関わる作用である。

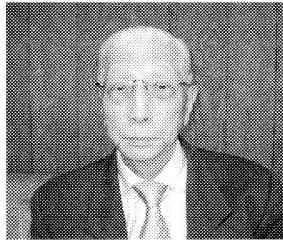
光線のその他の作用

これまでの研究から、光線に

は他にも、コレステロール値の低下、尿酸の排泄、代謝の亢進、肥満の解消、炭塵肺の予防などに有用な作用がある。なお併せて光線には未だ科学的に解明されていない効能がある蓋然性を指摘して結びとする。

一般演題

「胆道ジスキネジーの施療経験」



社団法人 神奈川県療術師会
海渡一二三

〔目的〕症例は長年にわたり食後の右上腹部痛と右背部痛に苦しめられており、病院で胆道ジスキネジーと診断されて治療を受けているが、痛みが治りきらずに続いているため、光線療法に望みを託して来院された。施

療の結果、著効を得たので施療経験を報告する。

〔症例〕患者 53歳 主婦 スナック経営

〔主訴〕特にスナックで接客中に飲食した後の右上腹部を中心にした腹痛発作

〔既往歴〕37歳で子宮頸癌に罹患、病院の治療に併用して当院で光線療法を行った。

〔現病歴〕初診時、顔面蒼白で右上腹部に鈍痛があり、辛そう

だったが、胆道ジスキネジーは命に関わる病気ではないから安心して施療を続けようとした。

〔療法ならびに経過〕施療は四台の光線治療器を使い、同時照射した。カーボンは標準光線のサナモアAカーボンと強赤外線

のサナモアBカーボンの組み合わせか、Bカーボンと強可視線のDカーボンの組み合わせを用いて、側臥位で右上腹部60分、

後頭部10分、足裏30分、膝10分照射してから、顔面10分、腰部

と臀部各15分照射し、次いで仰臥位で、左から肩、右から上腹

部、左から膝に各15分、次に左右を逆にして、右から肩、左から上腹部、右から膝に各15分の照射を継続して毎日行った。

施療を始めて一ヶ月が過ぎた頃には、腹痛は軽減し、痛みの発作の間隔は遠のき、三ヶ月後には腹痛は殆どなく、スナック

の仕事も支障なくなせるようになったので、演者の治療院での施療を中断し、自宅で光線療法を継続するように指示した。

その後、患者からの連絡はなく月日が経過したため、患者宅に電話をして病状を聞いたところ、

患者本人が電話に出て、先生、胆道ジスキネジーは治りましたから安心して下さい、と言われた。

〔考案ならびに結語〕胆道ジスキネジーは胆道系に器質的疾患などの異常を認めないのに、胆

道系の機能異常により、食事直後または1〜2時間後に右上腹部痛や右背部痛を認める病態で

ある。痛みは鈍痛か疼くような痛みが多く、黄疸は起きないか

起きても軽い。

胆道ジスキネジーは胆汁の排出に関係する自律神経や消化管ホルモンの異常が関係すると考えられている。すなわち胆道系機能は自律神経の働きによって調節されているが、自律神経のバランスが崩れて調節機構に狂いを生じると、食後に胆道系が異常運動を起こし、胆汁が胆嚢や胆管にうつ滞し、胆道内圧が上昇して、胆石症のような痛みを生じるのが胆道ジスキネジーの本態と考えられている。

ところで胆道ジスキネジーの施療に光線療法を行って著効を得たが、光線の深部温熱作用により胆道系の異常運動が抑えられて腹痛が和らいだからである。言うまでもなく、この施療の鎮痛効果は一過性で限られているので、施療を繰り返して、繰り返し鎮痛を体感させることで、自律神経のバランスは調節されて安定し、胆道の異常運動は解消して、胆道ジスキネジーに由来する痛みの過敏状態から脱却した結果である。

治験例報告

気管支喘息による呼吸器症状が

サナモアで改善

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 〇七八一三三一二三五八

症例 52歳 男性 会社員

症状 以前から、風邪をこじらせやすく、咳が長引くことも度々であったが、夜間に激しい咳で覚醒するようになり、呼吸苦も伴ったため、呼吸器科を受診。

そこで、気管支喘息と診断され、投薬治療を受けて、激しい咳で覚醒することはなくなり、喘息発作は起こらなくなる。しかし、翌年の冬に再び、風邪をきっかけとして、喘息様の症状が出始めたため、今回は、数年前に妻が購入したサナモア光線治療器を使い光線治療を始めた。

療法経過 治療は、最初A Bカー

ボンで、足裏30分、腓腹部30分、足の甲30分、膝30分照射。その後、腹部30分、腰部30分、背部30分、前頸部20分の照射を朝晩二回施行した。光線療法を開始してから、呼吸が自然と深くなっ

たように感じ、熟睡できるようになる。一週間が経過した頃には、咳の回数は減り、夜間に激しく咳こんで覚醒することはほ

とどなくなつた。この頃、薬剤師の友人から、薬には効果以外に副作用があるから、注意する必要があると聞いたが、サナモアには副作用の心配がないことが大きな長所で、気管支喘息に有効であることが分かってよかったと話している。現在、一日一回の照射を欠かさず行っているが、気管支喘息は落ち着いており、快適な日常を過ごしている。

治験例報告

サナモアで高齢者の

大腿骨骨折術後を治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九二八五八一〇三九
五七二一五七三

症例 90歳 女性

症状・療法経過 長年のサナモ

ア愛用者。お風呂場で滑って転倒し、救急受診したところ、大腿骨骨折と診断。20 cm程の金属製のプレートとボルトで固定するといった大手術を受けた後、リハビリを施行し、約二十日の

入院期間で退院となる。しかし、以前のように歩くことができず、創部に痛みもあったことから、サナモア光線療法について相談。ご本人は、金属のプレートが入っていると、サナモアを使えないのではないかと心配されていたため、金属があっても支障なく

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

サナモアを照射できることを伝え、とにかく、BCカーボンで、創部を中心として長時間照射するように指導した。

しばらくして、痛みも少しずつ軽くなり、杖をついて歩けるようになったが、創部はすぐに痛くなるので、その都度、サナモアを照射しているとの報告を受けた。その後も毎日のようにサナモアを続けていたが、徐々に、台所に立ったり、畑仕事をしたり、自転車で買い物にも行

けるようになったとのこと。

痛みを自覚すると、すぐにサナモアを照射しながら約二年が経過した現在においては、以前にも増して元気に過ごされておられ、最近、ようやく完治したよう、サナモアがなかったら、きつと寝たきりになっていたのではないかと思うと感慨深げに話された。そして、この歳になっても、サナモアは効くものですねと大変喜ばれていた。

治験例報告

網膜剥離、糖尿病を

サナモアで治療

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四四一七三二五〇六七

症例 63歳 主婦

症状 サナモア愛用者。糖尿病にて通院加療中に視力低下を認め、眼科を受診したところ、網膜剥離を指摘。病院で治療を開始したが、サナモアでも治療したいと来院された。受診時、他に椎間板ヘルニアによる腰痛と下肢のしびれ、巻き爪等も認められたため、合わせて治療を行った。

療法経過 治療は、四台の治療器で、BDカーボンを使用。最初、側臥位にて、顔面、腰部、臀部、膝を60分照射。次に、後頭部、腹部、足裏を15分照射。

さらに、仰臥位として、右顔面、左腰部、右膝側面を15分照射してから、左顔面、右腰部、左膝側面を15分照射した。当院での治療は、自宅治療と合わせ、根気よく続けたが、平成12年6月

から約一年半行った。その後の病院の検査で、血糖コントロールが改善していると説明を受け、眼科医は、視力が予想以上に改善している点を不思議がり、網膜剥離の場合、なかなか視力の回復は難しいのにと話された。患者は良く見えるようになったと喜んでいますが、今後も自宅での光線治療を継続することの必要性を説明した。

治験例報告

サナモアで

妊娠に伴う体調不良が改善

目黒区 サナモア光線治療院

東原 なつ子氏報告

TEL 〇三二五七五九一三七〇

症例 38歳 女性

症状 サナモア愛用者。以前から、疲れやすく、全身倦怠、体

調不良を訴えて、不定期でサナモア光線治療院に通っており、自宅での治療と並行して光線療

全自動光線治療器

はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてききました。この点を改良したのが全

自動光線治療器ははつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントでさるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なお、はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

法を行っていた。今回、第二子で妊娠五か月に入った頃から、身体が重く、体調が思わしくないと理由で来院された。

療法経過 治療には、五台の治療器を使用。側臥位にて、腹部(BD)、膝(AB)、後頸部(BD)、腰部(BD)、足裏(AB)を40分全身照射。治療院での全身照射

を、週一回のペースで行うとともに、自宅での光線治療を継続。全身照射を受けると、身体が軽くなるように感じると話していたが、無事に第二子を出産した。現在、二人の子育てを行って多忙な日々の合間に、不定期でサナモア光線治療院にも来られている。

サナモア 光線療法 愛用者の声



サナモアに出会えた
ことに感謝です

横浜 坂巻 まゆみ様

私がサナモア光線療法と出会ったのは、椎間板ヘルニアと診断され、痛みと闘っていた平成二十三年四月です。その年の一月に受診した整形外科で処方された薬で少し改善したため、最初は軽く考えていましたが、症状は好転せず、接骨院にも通いましたが、無理して動いているうちに、だんだんと痛みが強くなり、歩くこともできず、一日横になっていられるような状態でした。もう残る手段は手術しかないと考えていた頃、知人

からサナモア光線療法を試してみないかと言われたのです。それまで、サナモア光線療法など聞いたこともなかった私にとっては、光線療法で治るのか疑問に感じましたが、同様の症状でサナモアを試して治った知人の説得力のある話から、治療を受ける決心ができました。

治療は、週に一回、足裏から、膝、腰、背中、お腹等を約一時間照射しました。治療を開始してから数回、膝やすねのあたりに、びりびりとした痛みを感じましたが、それも治療の過程で起こりうることでと説明され安心しました。五、六回治療を受けた頃から、少しずつ、その効果を感ずるようになり、二か月が経過した頃には、腰の痛みはかなり楽になり、長距離歩行も可能となりました。この時ほど、普通に歩けることの喜びを実感したことは、今までにありません。本当にうれしかったです。その後、別の友人が腰を痛め、私が治療した病院を教えて欲しいと言われたので、サナモア光線療法で治った話をすると、是

非試してみたいとのこと。今度は私の話を信じ、安心して友人も毎日照射していましたが、こんなにいいのなら購入したいと、今ではマイ治療器を愛用して、すっかり良くなりました。副作用がないこともいい点だと思います。

一時は手術まで考えていた自分自身も、あの時の痛みが嘘のようです。もっとも、サナモア光線療法が広まればいいですね。

今は、サナモア光線療法に出会えて本当に良かったと思っていますし、紹介してくれた知人にもただ感謝です！

サナモア体験記募集

サナモア光線協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：

sanamore@hr.catv.ne.jp



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、

一、季刊紙、「健康と光線」の発行

二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL (03) 三七九三―五二八二
三七二一―五三二二

(本紙の無断転用を禁止します。)